

指定管理者評価シート

一 管理運営の状況

1 施設名	仙台市天文台
2 指定管理者	株式会社仙台天文サービス
3 指定期間	平成20年7月1日～令和20年3月31日
4 施設の利用状況	<p>《利用者数》</p> <ul style="list-style-type: none"> 令和3年度 105,526人（前年度比 166.8%） ※新型コロナウイルス感染症対策のため、令和3年4月1日～5月12日、令和3年8月30日～9月12日は臨時休館を実施。令和3年8月20日～8月29日、令和3年9月13日～9月30日までは17時以降の事業を休止。 令和2年度 63,257人（前年度比 34.8%） ※新型コロナウイルス感染症対策のため、各事業は令和2年4月1日～7月4日の期間、中止・休止の対応。 令和2年4月11日～5月21日、令和3年3月26日～31日は全館休館を実施。 令和元年度 181,557人（前年度比 98.5%） ※新型コロナウイルス感染症対策のため、令和2年2月29日～3月31日プラネタリウム・ひとみ望遠鏡休止 <p>《事業》</p> <ul style="list-style-type: none"> 天体観測の指導助言及びプラネタリウムによる天体现象の解説、天文科学に関する観測研究並びに資料の収集・保管及び展示、天文科学の普及啓発に関する行事の開催及び刊行物の発行、学校理科教育における天体の観察実習の指導助言 等
5 収支の状況	<p>《費用》</p> <ul style="list-style-type: none"> 指定管理者に支払った費用 726,566千円（714,818千円） ※PFI事業のサービス購入費施設整備費相当分を含む その他市が負担した費用 1,165千円（1,501千円） <p>《収入》</p> <ul style="list-style-type: none"> 観覧料収入 35,930千円（28,233千円） 使用料収入 26千円（25千円） <p style="text-align: right;">（ ）は前年度決算額</p>
6 利用者の声	<p>《実施状況》</p> <ul style="list-style-type: none"> 施設内のアンケート用紙の設置及びウェブサイトにて利用者の声を把握している。また、寄せられた意見に関する統計的な分析を行い、施設の維持管理・運営業務の改善に活用している。

二 管理運営に係る評価（モニタリングシートの結果によって評価）

評価分野	所見	評価
I 総則	施設の設置目的や役割を十分理解した上で、市民の宇宙に関する興味・関心に応え、宇宙・天体に関する知識を深め、様々な体験を提供できるよう、天文台・科学博物館としての更なる質の向上に取り組んでいる。	33/33
II 施設の運営管理体制	各業務に必要とされる資格や専門的な知識を有する職員を適切に配置し、施設の設置目的を踏まえて運営を行っている。また、事故防止や災害発生等の非常時の対応等について、台内ミーティング等を適宜開催し、その場において関係者間で必要な情報共有が図られている。また、スタッフサポーター（市民ボランティア）に対しても、スキルアップ等の支援を実施している。	29/29
III 施設・設備の維持管理	施設の一部設備に対応不備等が生じた事例があったが、利用者が快適かつ安心して施設を利用できるよう、建築・設備の保守、清掃、警備等に加え、施設の特徴を十分に考慮し、施設各所の維持管理に努めている。また、新型コロナウイルス感染症拡大防止対策（館内消毒・換気等）及び令和4年3月の福島県沖地震の被害に関する利用者の安全対策も適切に行っている。併せて、ごみの分別や省エネルギー等の環境負荷の低減に資する取り組みを行っている。	24/24
IV サービスの質の向上	より多くの方々に宇宙を身近に感じ、親しみや興味を持ってもらうため、天文分野にとどまらず多様な分野の関係者とのコラボレーション企画など、利用者増や地域における賑わいの創出のため、様々な事業を展開している。併せて、「仙台MaaS」の適用や「そらカフェ」の開業などにより、施設利用者の利便性の向上も図っている。また、各イベント情報や天体の観測成果等について、天文台ウェブサイトをはじめ、YouTube、インスタグラム等の各ソーシャルメディアを積極的に活用するなど、幅広く事業周知に努めている。	28/28

V 施設固有の基準	経営の健全性を確保するため、施設運営に関連する各保険への加入など、リスク管理を適切に行うとともに、PFI事業の要求水準を十分理解し、達成のため努力している。	10/10
-----------	--	-------

三 評価総括

《指定管理者（株式会社仙台天文サービス）による自己評価》
<p>仙台市天文台の令和3年度の実入館者数は、105,526人（前年度 63,257人）、観覧料は、35,956千円（前年度 28,258千円）となった。令和3年度も、前年度と同様に、新型コロナウイルス感染症（COVID 19）対応をしながらの活動になった。大きな規制としては、前年度の3月26日から今年度の5月11日までと、8月30日から9月12日までが感染拡大をうけて臨時休館となった。その結果、306日の開館予定が258日の開館にとどまった。その他多くの事業においても規制や中止等の対応を余儀なくされた。特に天文台の大きな役割である、望遠鏡を覗いて天体に触れて頂く活動が大きく制限された。更に直前まで開催を予定していた『天文台まつり』も中止せざるを得なくなった。具体的業務の中期計画は、令和3年度も『宇宙を身近に』を理念に掲げ、『WAを広げよう』をビジョンに引き続き市民に親しまれる施設、憩いの施設として、仙台市から示されている『要求水準』を着実に実行すべく施設運営に取り組んだ。施設の使命である、市民が宇宙や天体を通して自然科学について学べるようにするとの理念に関しては、地元教育研究期間との連携強化により活動の幅が広がった。天文分野の教育をより専門的、効果的に行う場として、社会教育施設としての利用が高まり天文学の普及に寄与している。ユーザーの声を基に、御意見、ご要望や改善を届けるツールとして、『来館者アンケート』に加え、新たにNPSシステムを導入したことにより、よりの確な分析が可能になった。お客様のご要望により新たに『カフェ』がオープンした。今後もスタッフ一同、施設の使命を忠実に遂行し、市民の方々や来館者のニーズに応える施設となるよう努力していく。</p>

《施設設置者（仙台市）による評価》	総合評価
<p>令和3年度は、前年度同様に新型コロナウイルス感染症対策を十分に考慮しながら施設運営を展開した。施設の利用制限、イベントの開催自粛、臨時休館等を実施したが、施設入館者（利用者）数は大幅に減少した前年度との比較で60%の増加（105,526人）となった。こうした状況下においても、市民が安全で快適に施設を利用できるよう、感染症対策をはじめ様々な観点から有効な対策を検証し、それを活かした施設管理・事業運営に努め、指定管理者として適切な施設運営を行っている。</p> <p>併せて、各事業の実施に際しては、利用者の満足度や利便性の向上のため、利用者アンケートによりニーズの把握に努めながら、関連企画の実施やカフェの設置等の多様な事業を展開するとともに、ウェブメディアも駆使してより多くの市民等に対する積極的な広報を行う等、サービス水準向上の取り組みは、十分評価できる内容である。</p> <p>また、利用者からの意見や要望に対して職員会議で共有し、組織的に検討・策定した改善策を実施するという運営サイクルを基本とした体制や、地元大学や地域団体等の様々な関係者との連携企画の実施等により、更に多くの市民が利用し、賑わいの創出を図ることで、今後天文台事業が更なる向上を遂げることを期待する。</p>	S

四 その他特記事項（上記評価項目の他に、指定管理者の優れた取り組み等、特に記載すべき事項があれば記載する）

特記事項
<p>前年度に引き続き、新型コロナウイルス感染症の影響により、感染症拡大防止対策が施設運営に関する最優先事項となった。指定管理者として、これまでの経験や実績を踏まえ、各設備利用や関連イベント開催時・日常の維持管理などが安全に遂行できるよう常に考慮しながら、感染防止対策に努めた。その結果として、円滑な施設運営が展開できた。</p>

◎ 評価担当課（施設所管課）： 教育局生涯学習部生涯学習課